

品川新駅（仮称）新設・品川駅北周辺地区土地区画整理事業の本格着工に向けた起工式を開催

平成 29 年 2 月 10 日（金）、東京都港区の山手線新駅計画地で、品川新駅（仮称）新設・品川駅北周辺地区土地区画整理事業の本格着工に向け、起工式が開催されました。

東日本旅客鉄道（以下「JR東日本」）及び独立行政法人都市再生機構（以下「UR都市機構」）は、品川駅北周辺地区のまちづくりを協働して推進しており、JR東日本はこれまで品川新駅（仮称）新設のための設計及び工事、また、UR都市機構は国家戦略特別区域における品川駅北周辺地区土地区画整理事業について、今後現地にて本格的な着工を迎えます。

今後はそれぞれが新駅新設及び土地区画整理事業の基盤整備工事に着手いたしますが、これからも役割分担のもと、引き続き協働して品川駅北周辺地区まちづくりを推進してまいります。



（鍬入れの様様）



（フォトセッション後のJR東日本富田社長とUR中島理事長）

起工式後には JR 東日本富田社長と UR 都市機構中島理事長によりフォトセッションを行いました。

この中で中島理事長からは「JR東日本とUR都市機構はこれまでも渋谷駅再編プロジェクトや東日本大震災の復興事業など、連携してまちづくりに取り組んでまいりました。当地区のまちづくりは、これからの東京をけん引するプロジェクトであり、国際交流拠点・品川を目指して、これまでのまちづくりの経験を活かしつつ、地域とともに成長していくまちづくりを連携して進めてまいります。」とお話しました。